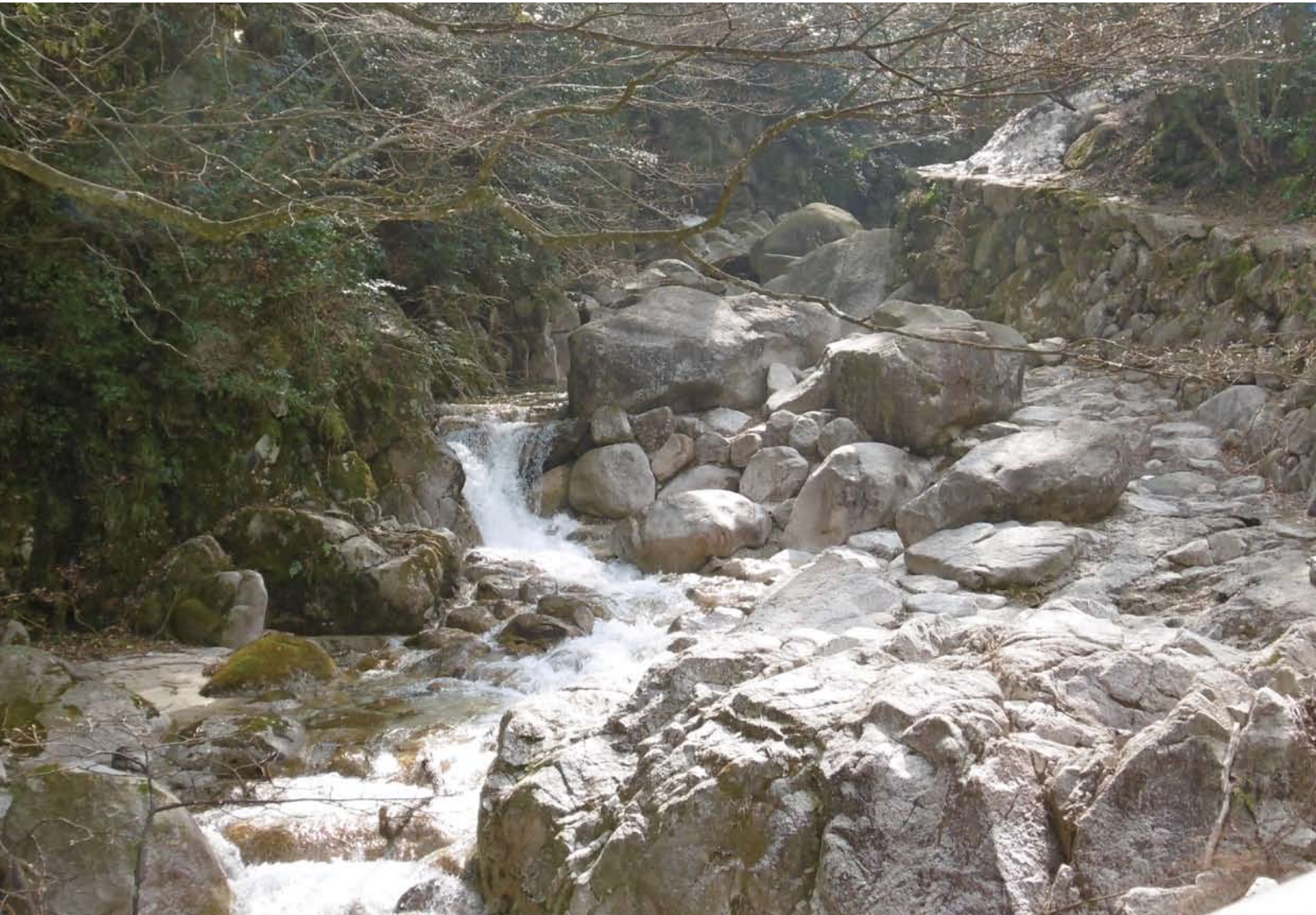


# 厚生連だより

Letter of JA Mie Koseiren

大石公園（菟野町）



## もくじ

ご挨拶	2
新たに副院長が就任しました	2
患者総合支援センター開設	4
「然の膳」Open	4
最新鋭の経口胆道鏡を導入しました	5
地域包括ケアシステム構築への取組み	5
リハビリテーションセンターとなりました	6
「福祉ふれあい広場」に参加しました	6
臨床心理士としての役割	7
病院治療食紹介	8

### JA三重厚生連の基本理念

JA三重厚生連は、医療・保健・福祉活動を通じて、組合員と地域住民の皆さまが、安心して健やかに暮らせる地域づくりに貢献していきます。

#73  
2017. May.

## ご挨拶

三重北医療センター

センター長

竹山 廣光



平成29年4月1日付より、いなべ総合病院と菰野厚生病院は、統一名称「三重北医療センター」を付して、新たにスタートしました。

近年、医療を取り巻く環境は日々変化しており、高齢化に伴い医療需要はますます増加することが予想され、これまで以上に質の高い医療提供体制を整備することが急務であります。さらに、医療従事者の絶対的不足により、救急医療体制の維持、病院運営が難しい状況にあります。

これらの課題の解決策として、両病院が一体となった機能連携の強化、限られた医療資源の有効活用、将来に渡る医療機能の見直しが必要と考え、三

重北医療センターという構想が生まれました。

三重県北勢地域における将来の医療提供体制を見据え、診療機能の分担集約化に取り組みとともに、スケールメリットを生かした両病院間の診療機能を補完し合う体制整備に向けて努めてまいります。

両病院が三重県北勢地域における役割を十分に認識し、地域医療の向上、最良の医療提供を目指し、努力してまいり所存です。

今後とも、皆様の温かいご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

## 新たに副院長が就任しました

松阪中央総合病院

平成29年3月末をもって、長きに亘り活躍されてきた野口光也副院長の退職に伴い、4月より新たに3名の副院長が就任いたしました。23の標榜科と専門領域の多様化にて、現状102名もの医師をいかに纏め、チーム医療を推進するかが、医療の質を高めるためにも大変重要となっております。神谷副院長を含む4名の体制で、病院長を補佐し、今後の松阪中央総合病院をさらに発展させるため、3名の副院長への期待が高まっています。

副院長 外科

田端 正己

本年4月1日付で、副院長を拝命いたしました外科の田端です。私は2014年4月に当院に赴任いたしました。それ以前は17年6ヶ月間、三重大学医学部肝胆膵・移植外科に在籍し、主に肝胆膵癌の治療および生体肝移植に携わってまいりました。当院赴任後は、日本肝胆膵外科学会高度技能指導医として、難治性の肝胆膵癌に対する





手術を継続するとともに、「開業医の先生方に紹介先として選んでいただけた外科」「患者さんに受診先として選んでいただける外科」を目指して診療に従事してまいりました。その一環として本年1月には消化器内科と合同で消化器センターを開設し、センター長の

## 副院長 消化器内科

小林 一彦

この度、平成29年4月1日付けで副院長を拝命しました小林一彦です。

当院で平成5年から25年間、内科医師として消化器疾患を中心に診療してまいりました。今後は次の2点に力を入れていきたいと考えています。

第一にがん治療の充実です。当院は松阪から紀州に及ぶ医療圏の地域がん診療連携拠点病院に指定されており、増加している様々ながんの治療を強化します。

第二に救急医療と病診連携の充実です。今年になり、より細やかな対応を図れるよう、消化器、心臓血管、乳腺のセンターを開設しました。

任に当たっております。今後は病院全体を俯瞰し、皆さんに選んでいただける松阪中央総合病院、愛され信頼される松阪中央総合病院を目指して全力で頑張る所存です。ご指導ご協力いただきまますよう宜しくお願い申し上げます。



当地区は同規模の三病院がある激戦区です。その中で地域一番の病院を目指し、他病院と協力し、患者さんやスタッフに愛される病院になるよう尽力させていただきます。今後とも、ご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い致します。

## 副院長 循環器内科

谷川 高士

この度、松阪中央総合病院の副院長に就任いたしましたので、皆様にご挨拶申し上げます。

私の専門領域は循環器内科であり、虚血性心疾患や末梢動脈疾患に対するカテーテル介入治療を診療の主軸としています。さらに、三重大学客員准教授として、県内の関連病院と連携した臨床研究や教育活動にも力を入れていきます。

当院は、松阪地域で心臓血管外科を有する唯一の急性期病院として、これまでに質の高い診断治療を提供するために、2017年4月に心臓血管センターを開設いたしました。心臓血管外科や救急科との連携強化とともに、リハビリテーション科等とのチーム医療を強化します。また、患者総合支援セン

ター長として、最良の医療サービスの提供を目指します。

これからは、各領域の専門性を結集したチーム医療体制を強化し、病院としての総合力、ブランド力をいかにして高めていくかが重要であると考えています。新たな気持ちで全力をつくして職責を果たす所存ですので、何卒、宜しくお願い申し上げます。



## 患者総合支援センター開設

松阪中央総合病院 事務部長 井ノ口 晋



近年、医療の高度化や多様化、患者さんのニーズや疾病構造の変化から地域全体で患者さんをサポートする地域完結型医療が求められています。患者さんの外来通院から入院そして退院後の支援まで安心して相談できる窓口として平成29年4月より患者総合支援センターを開設いたしました。

患者総合支援センターには紹介患者さんの窓口である地域医療連携室、退院調整やその支援を図る医療福祉相談室、病気や生活、医療費など細かな相談が可能な患者サポート相談窓口、がん相談窓口、入退院支援室を設置し患者さんの窓口として利便性を高めることといたしました。

これまで当院では、地域医療連携室と医療福祉相談室、医事課がそれぞれ別の場所にありま

した。相談の内容によって窓口が異なり、患者さんの基本情報や外来通院時から入院、退院までの情報共有が不十分で患者さんにも職員にも不便をかける状況もあり、これらを解消することを目的に当センターを設置いたしました。また入退院支援室では、今まで外来部門で行っていた入院時の説明や手続きをこちらで行うことといたしました。これにより外来部門での待ち時間の短縮を図り、入院時の病棟での情報収集や電子カルテへの入力業務など看護業務の負担軽減にも繋がっていきます。

患者さんの情報を一元化し、外来から入院及び在宅復帰までの一連の流れを多職種にてスムーズに行い、患者さんや地域にとつて身近な患者総合支援センターとして機能するよう努めてまいります。

## 「然の膳」Open

松阪中央総合病院



平成29年3月29日に患者レストラン、職員食堂「然の膳」がOpenいたしました。レストランの変更について、院内でいろいろ議論した結果、本当に体に良くて、おいしいものをつくりたいとのコンセプトで薬膳料理を看板にしている神戸の「然の膳」に出店いただきました。  
\*1 日替わりの定番や喫茶食堂メニューにも薬膳要素を取り入れているそうです。

患者さんや職員にも、とにかく健康的に元気になるってもらいたいとの願いです。いまのところ、職員からの評判も良く、皆様もぜひ一度ご賞味いただきたいと思います。

\* 薬膳とは、特殊な漢方薬を使った料理ではなく、旬な食材の持つ効能を最大限に引き出す調理方法による料理となります。



## 最新鋭の経口胆道鏡を導入しました

鈴鹿中央総合病院 消化器内科医長 松崎 晋平

2016年7月、当院に東海地区で初めてSpy Glass DS(Boston scientific 社製)が導入され、これまでは困難であった胆膵病変の診断や治療に役立っています。Spy Glass DSは、2015年10月に登場した最新の経口胆道鏡であり、以下のような特徴があります。

### (1) 画質の向上

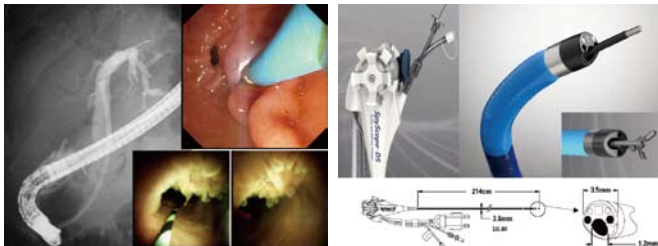
旧 Spy Glass より解像度が5倍程度向上し、詳細な観察が可能となりました。異常部位から直視下に組織採取が可能であり、病理学的評価も可能です。

### (2) 優れた操作性

Spy Glass DSは4方向アングルが可能な細径内視鏡であり、その優れた操作性は、正確な診断・治療に役立っています。

### (3) 簡便で安全

Spy Glass DSは組み立てが容易で、急な適応にも



消化器内科集合写真

対応出来ます。また、disposable useのため、感染や故障を心配する必要がありません。

経口胆道鏡の進歩により胆膵疾患の治療は新しい時代に入りました。新しい機器を携えて、これまで以上に地域のみなさまに安全で質の高い医療を提供できるように努めて参ります。

## 地域包括ケアシステム構築への取り組み

大台厚生病院 社会福祉士 生駒 好司

近年、増加する高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるように各市町が地域包括ケアシステム構築に向け取り組んでおります。その一環として、昨年度は大台町、大紀町と共催で医療、福祉関係者を対象に在宅医療・介護連携推進に係る研修会を開催いたしました。平日の夜間の開催にもかかわらず各関係機関から63名に参加していただきました。今回の研修内容は病院内と調剤薬局で働いている薬剤師が業務内容や現状の課題について発表を行い、その後、各グループに分かれて話し合っていたいただきました。話し合いの中で、

普段の業務内で薬剤師と、どのようにして連携をしていけば良いか、また薬をたくさん処方されている患者さんで管理が大変な時にどのようにして取り組んでいけば良いかなど、疑問に感じた事を検討し大いに盛り上がりました。研修会後半には、各職種から見た、大台・大紀両町の現状からどの

ように医療、福祉に取り組むべきか話し合っていました。

普段、業務をしているときさまざまな職種の方と会う機会が少ないのですが、出席していただいた皆様それぞれに地域を支えていく、強い意志を感じることができました。今後も両町と協力しながら定期的に研修会を開催し、各職種の顔の見える関係作りを進めていくと同時に、この地域での医療、福祉の発展に貢献できればと思います。



## リハビリテーションセンターと なりました

三重北医療センター 菰野厚生病院  
リハビリテーション科 技師長 豊田 芳典

この度病院名の変更に伴い、リハビリテーションセンターと改名することとなりました。

また当部門のスタッフも、平成29年

度より理学療法士3名、作業療法士2名を増員し、理学療法士15名、作業療法士10名、言語聴覚士3名となり、今まで以上に充実したリハビリテーションを提供させて頂くことができます。また当センターでは、従来の疾患別リハビリテーション（脳血管疾患リハビリ、運動器リハビリ、呼吸器リハビリ）に加え新たに、がん患者リハビリ、心大血管疾患リハビリを提供させて頂き、より多くの患者さんの早期家庭社会復帰をサポートさせて頂く

ことができます。これからも地域住民のみならずから、選ばれ信頼される病院となるように、当センターにおいても、努力していきます。



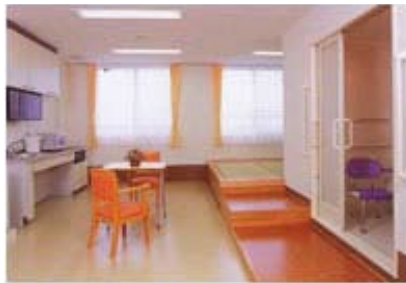
理学療法室



言語聴覚室



作業療法室



家庭復帰支援室 (ADL室)

## 「福祉ふれあい広場」に参加しました

南島メディカルセンター 総務課 柳生 美樹

平成29年1月29日(日)南伊勢町社会福祉協議会主催の「福祉ふれあい広場」に参加しました。

この催しは「誰もが安心して暮らすことの出来る「ふくしのまち」を目指して」というテーマのもとに毎年開催される恒例のイベントです。

福祉関係功労者の表彰や福祉の作文発表などの福祉関係イベントや、健康チェック、健康づくりなどの健康コーナー、福祉関係事業所の紹介、福祉用具の展示販売などの福祉のコーナー他5つのコーナーがあり、当センターも2つのコーナーに参加しました。

健康コーナーでは、他の医療関係の皆さんと共に来場者の内臓・体脂肪測定や健康相談を行い、事業所紹介では「介護老人保健施設・水脈の郷」、「訪問看護ステーション・あじさい」、「南島メディカルセンター」のパンフレットを



お渡しし、問い合わせに対応しました。また、来場者の方に楽しんでいただけるように、合計点数でお菓子をプレゼントする輪投げと、職員が持ち寄った品物でバザーを開きました。みなさんのおかげで商品はすべて完売し、売上金は全額南伊勢町社会福祉協議会に寄付することができました。南伊勢町の医療・介護施設として、今後もこのような活動に参加していきたいと思えます。



## 臨床心理士としての役割

鈴鹿厚生病院 臨床心理士 浅尾 奈未

平成28年度より鈴鹿厚生病院に常勤の臨床心理士2名が配属されました。臨床心理士とは、臨床心理学にもとづく知識や技術を用いて、人間の「心」の問題にアプローチする心の専門家のことを指します。

臨床心理士になるためには四年制大

学を卒業して臨床心理士指定大学院を修了した後に、臨床心理士試験に合格する必要があります。平成29年度現在、三重県には臨床心理士指定大学院はなく、臨床心理士になるためには県外に出なければならぬという現状があります。そのためか、長い歴史をもつ精神

科病院である鈴鹿厚生病院ですが、今まで常勤の心理士はいませんでした。そのような環境の中、現在私たちが病院でどのような仕事を担っているかというところ、大きく二つに分けられます。一つ目は初診で来られた患者さんの生履歴や現病歴を聴取する予診、二つ目は

発達検査やパーソナリティ検査といった種々の心理検査、三つ目は心理療法です。いずれも患者さんの病気の部分だけでなく、健康的な部分を含め、全体を見るように心がけています。しかし、日々技術的な至らなさはもちろんのこと、他職種間の連携の難しさを痛切に感じている次第であります。



心理検査に使用する用具



心理検査風景

ひと昔に比べ、精神科の敷居は低くなったと言われています。それだけ「生きづらさ」を抱える人が増えているのでしょう。「生きづらさ」には、小手先の処世術ではまかないきれないような人間の本質的な問題が潜んでいると思います。私たちは現代社会を生き抜くために不快な感情に耐え、苦しみを持ちこたえる必要があります。しかし、それは決して容易なことではなく、ともすれば潰れてしまう危険性も孕んでいます。そのような「心」とどう向き合い、関わっていかばよいのでしょうか？ 答えは人それぞれ違うと思います。患者さんとの関係性の中で一緒に考えていきたいと思っています。

## 治療食

### 紹介します ① 糖尿病食

松阪中央総合病院 栄養管理科長 北岡伊久子

病院食には、「一般食」と「特別食(特別治療食)」があります。  
 一般食は、特別な制限がない食事で、流動食から五分粥食、全粥食等の段階食や常食、嚥下調整食などがあります。特別治療食は、疾患に応じた食事療法が必要な食事で、医師の指示に基づいた制限のある食事となります。

#### 【糖尿病食】



患者さんの体格や病状に合わせてエネルギー量を、栄養バランスよく食べていただけるよう調整した食事です。野菜たっぷりメニューで、味付けは薄めに…。砂糖、みりんなど、調味料の使い方には注意しましょう。

#### ●調理のポイント

・牛肉炒めは、濃厚なコクのあるオイスターソース(牡蠣エキス)を隠し味に使い、砂糖は使わずに。

・大根の煮物は、ツナをプラスしてうま味をアップ。  
 ・トマトは薄切りにし、ノンオイルドレッシングを使います。  
 ・冷たくしていただきます。見ためもポリウム感があり、おなかを満たしてくれる低カロリー料理です。

#### ●作り方(材料 1人分)

《ごはん》…150g

《牛肉のオイスター炒め》

- 牛肉…60g
- 生姜…少々
- しょうゆ…2cc
- いんげん…10g
- 玉葱…30g
- 人参…10g
- 油…3g
- オイスターソース…2g
- 酒…2cc
- こしょう…少々

- しょうゆ…2cc
- コンソメ(固形)…1/4かけ
- 水…40cc

《ツナと大根の煮物》


- 大根…90g
- オイルツナ…15g
- 砂糖…1.5g
- しょうゆ…4cc

《トマトのスイートサラダ》

- トマト(中)…100g
- ノンオイルチクリミドレッシング…12g
- パセリ…少々

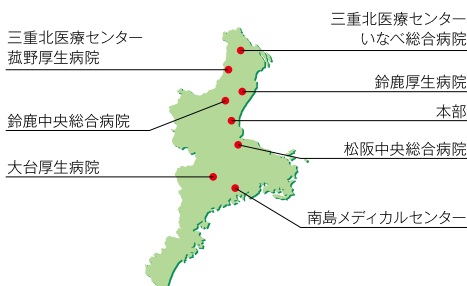
●●●●●●  
**栄養量**  
**1600kcal 食**  
 1食1人分

エネルギー 546kcal  
 蛋白質 20.6g  
 脂質 17.7g  
 塩分 2.3g

 JA三重厚生連

看護師 助産師 募集  
 看護補助員 介護福祉士

人に 地域に やさしい看護



厚生連だより #73

2017.5 発行

発行/ 三重県津市栄町1丁目960番地

三重県厚生農業協同組合連合会

TEL 059-229-9191 FAX 059-224-4354

http://www.miekosei.or.jp/ Email:info@miekosei.or.jp

